

デンマークの リスキリングから 何を学ぶか



～イノベーションとコーポラティズム～

“Lessons from Denmark’s Reskilling: Innovation and Corporatism”

日時

2024年11月10日 [日]

15:00～17:30 開場 14:30

会場

明治大学 駿河台キャンパス

アカデミーコモン

8階/308F教室

形式・参加方法

対面・オンラインハイブリッド
日英同時通訳あり（対面のみ）

※オンラインは字幕のみ

以下のURLか
QRコードから
お申し込みください。

参加費無料
（事前申し込み制）

対面参加は
先着順
（120名）



<https://bit.ly/3Zwn7Yi>

出演者



Stina Elias

（スティナ・ヴァング・イリアス）
（Tænketanken DEA代表）

1966年生まれ。国立ロスキレ大学卒、
デンマーク教育評価機構、デンマーク経営者連盟など
を経て、デンマーク教育産業協会部長。2015
年より中央職業訓練委員会委員長。



Thomas Felland

（トマス・フェラン）

（FHO：Forsknings- og Helseorganisasjonen
（旧LO労働組合全国組織））

1972年生まれ。デンマーク教育省職員などを経て、
2017年より労働組合総連合・職業訓練コンサルタン
ト。ヨーロッパ職業訓練開発センター（CEDEFOP）
理事（デンマーク労働組合選出）。



Arnt Vestergaard Louw

（アント・ヴェスタゴー・ロウ）
（Aalborg大学准教授）

1971年生まれ。Ph.D.（オーフス大学）。オルボー大
学文化教育研究所を経て2016年より現職。青少年教
育、職業教育、高等教育、社会人教育が専門。若者
の職業教育訓練に関する著作多数。



倉地真太郎

（コーディネーター）

明治大学政治経済学部准教授。財政学。北欧・デン
マーク財政が専門。科研費プロジェクト「イノベ
ティブ福祉国家としてのデンマークー福祉国家の持
続可能性の制度的基盤の研究」研究分担者。

デンマークの今を知る

日本でリスクリングを普及するには何が必要なのか。デンマークは、フレキシブルとセキュリティの造語である「フレキシキュリティ」政策が注目を集めるリスクリング先進国の一つである。これまでデンマークは政労使の協調のもと、大規模な職業訓練政策を実施し、生涯にわたって学ぶ制度を構築してきた。そこで今回のシンポジウムでは、デンマークの職業訓練政策を専門とする研究者、職業訓練政策担当者のトップ、全国労働組合の担当者を招いて、デンマークのリスクリングの今、職業訓練政策を支える政府のイノベーション政策や政労使の協調モデルのあり方を議論する。シンポジウムでの議論を通じて、日本のリスクリングや職業訓練政策への示唆を得たい。

プログラム

15:00-15:10 開催の挨拶・シンポジウムの主旨説明

15:10-16:15 登壇者によるプレゼン
(各25分程度)

16:15-16:25 休憩

16:25-17:25 ディスカッション
コーディネーター・講演者のコメント、フロアとの討論

17:25-17:30 閉会の挨拶



会場(アカデミーコモン8階)のアクセス

JR中央線・総武線/御茶ノ水駅:徒歩約3分
東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅:徒歩約3分
東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅(B1出口):徒歩約5分

都営地下鉄三田線・新宿線、
東京メトロ半蔵門線/神保町駅:徒歩約5分

https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

● 問い合わせ

ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
Mail: mail@shintarokurachi.org (明治大学政治経済学部倉地真太郎研究室)
HP: <https://shintarokurachi.org/>